

## はじめに

座間谷戸山公園は、平成5年に自然生態観察公園（アーバン・エコロジー・パーク、公園種別としては風致公園）として供用が開始された。公園整備の趣旨としては、都市化の進行している県央地域に歴史・文化を含む身近な地域の自然（樹林、草地、湿地、湧水地など）とふれあえ、自然観察や学習・体験ができる自然保全型の公園として整備された。

本公園の特色として、環境の維持管理面では、人と自然が関わりあいながら維持管理されてきた里山の自然環境（歴史・文化等を含む）を“生きた自然博物館”として位置づけ、一般的な都市公園とは違い大半の樹林や水辺環境を生き物の多様性が継続的に維持できる生態環境として、積極的に樹林更新や順応的管理を行いながら運営管理していくことが基本となっている。

また、公園の利用面では、公園利用者が上記の人と自然が関わりあいながら成立していた里山（樹林、草地、湧水地、たんぼ・畑など）の維持管理の一部を、ボランティア活動として参加することも公園利用の重要な部分として位置づけられている。



昭和 59 年(1984)撮影